



ΣΧΟΛΗ

協力会報

NO.54 [平成21年12月]

発行

スコール協力会

T 020-0851
 岩手県盛岡市向中野字才川2-3
 TEL.019-636-0827 (代)
 FAX.019-636-0830
 E-mail. info@schole.jp
 http://www.schole.jp
 振替口座02380-0-479



「感覚的にわかる人を育てたい」

盛岡スコール高等学校 校長 横田 禮子

協力会の皆さま、いつもご協力いただきまして、ありがとうございます。

「いったい歴史というものは過去のものでしょうか。もしそれだけだったら或る人には面白いかもしれませんが、現代の人、そして未来の人であるあなた方には興味がないでしょう。又無関係な、意味のないものですね。歴史は生きています。そしてつづいています。歴史はつくるのが出来ます。よくも悪くも。これからの学校の歴史を中心になって創ってゆくあなた方にここでバトンを渡しますよ。さあしっかり受けとって下さい。向中野学園の歴史は又今日から新しい頁がはじまります。ではしっかりお願いします。」引用が長くなってしまいました。昭和47年(1972年)、吉田幾世前理事長の著書「生徒に語った私たちの学校の歴史」の結びのことばです。私は27才。縁あってこの本の装釘をさせていただきました。当時、先生は体調を崩され志戸平温泉の病院に入院されていました。最後の校正刷を携え、窓の外に雪の降りしきる病室に伺ったことが思い出されます。

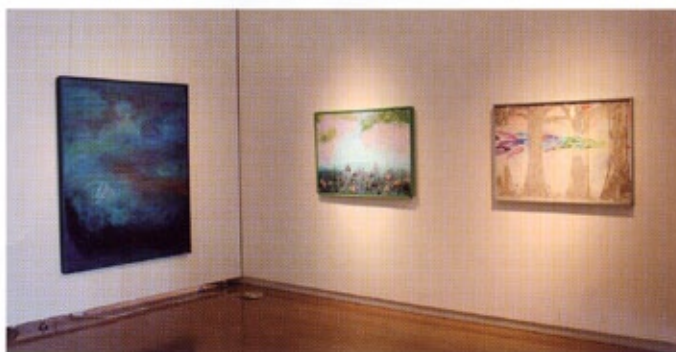
この春4月、私は幾世先生からのバトンを渡されてしまいました。不安いっぱいスタートでしたが、今、大丈夫です。

「ベスタロッチの学校みたいで実に面白い。」「私はこの学校が大好きです。それはここにはフロンティアの精神があるからです。」「とこの学校の特色、その良さを話して下さった方々。そして、いつも応援

してくださる協力会の皆さま。はじめから他の真似をせずに独自の高校を築いて来られた先輩の方々。私はここで不安を抱いたり弱音を吐いたりしていません。自分は何を受け継ぐべきなのか、それを探すつもりです。もう機能しなかったり、時代遅れだったりするけれど、絶対に捨てられないものがあるように、スコールでどうしても捨てられないもの、生活哲学といえるもの、それを基本に学校を創っていけばみえてくるかもしれません。

いつの時代も、生徒は私たちよりももっと世の中の歪み、いろいろなことに気づいています。私たちが生徒の目を借りて一緒に生活を見直し一緒に問題を読み解いていく、そういう時間をつくること、それができれば何か少しは変わるかも知れません。教える前に、自分たちがないがしろにしてきたことがあると自覚し、生徒に対してそれを正直に白状する勇気を持つことから始めようと思います。法律とか、教科書とか、決まりごとで教えるのではなくて、生きている心地よさを生んでいるものを「感覚的にわかること」、人に伝えられないまま忘れ去られた叡智を「読み解く力をつけること」、それが何より大事と伝えていきたいのです。「どんなバラックでも良い。自分たちの学校が欲しい。」と口ぐせのように言っていた先輩たちの望みがかなえられ、こんな立派な容れものをいただいた私達。「中身は大丈夫ですか?」と言われないように。

これからも、どうぞよろしく願い申し上げます。



Harmony,ハーモニー,はあもにい

盛岡スコール高等学校芸術科教諭 加藤 祐子

12月8日から12月13日までの6日間、ギャラリーアイーナ（盛岡駅前“アイーナ”5階）で第3回目の「はあもにい」美術工芸作品展が開催されました。生徒たちひとりひとりのいろいろな個性が感じられる、とても素敵な展覧会になりました。

ギャラリーの入口で、何かが光っています。「いったいなんだろう？」と眺めてみると、色とりどりの大きな丸いものがぶら下がっているようです。そしてよく見ると、それぞれが果物のかたちをして、ほわわん、と光っています。どうも形としては木のような、でもアフリカの彫刻のような素朴な形態の幹と枝に実がなっているようです。葉っぱもついていますが、よくよく見ると一枚として同じ色も形もありません。そして、その木の根元にはきのこが生えています。赤地に白い水玉のいわゆる「キノコ」がこれもまたほわわん、と光っています。

この「光る木」は今回の「はあもにい」展に向けて、創造の授業の中で共同制作したものです。みんなが意見を出し合っているうちに、果物？が7種類も（り

んご、桃、さくらんぼ、イチゴ、みかん、そしてメロンとどんぐり）なっているような不思議な木になりました。まるでバラバラに見えるものが集まって「あったかい感じのする、面白いもの」をつくっているところがスコールらしいな、と思っています。

搬入の日、この「木」を軽トラックに乗せたところ、雪が降ってきました。おまけに風も吹いてきました。どんどん強くなる風雪の中、途中で葉っぱが飛んで行ってしまったり、葉っぱの色が流れて白い幹が変色してしまったり。せっかく出来上がった！と思ったのに、会場ではまず、その補修作業から始めました。

そんな始まりでしたが、布地に版画したものをつなげた作品（赤と緑のクリスマスカラーです。）の位置を決めワイヤーで吊ったり、木をテーマとした絵画の作品を設置したり、ちくちくと25本の線とまるを刺繍した藍色の布たちを壁面に構成しながらピンでとめたり、機織の作品にアイロンをかけたり…と、その後は実に着々と進みました。展示作業、というのは重いものは持つし、高いところの作業はあるし、気を張っていないといけないし…と結構大変なのですが、みんなが気持ちよく働いて、楽しくって、ほんとうによい時間だったと思います。「い



つもこんな風に過ごせたら、いじめとかきつとなくなるのにね。」第1回目のはあもにい展のときに誰かが言っていた、そんな一言が思い出されます。

だいたいの展示が終わりつつあった頃、今年は農場から様々なクリスマスリースをはじめとする作品が届きました。自然の素材を使った作品は会場にあらたな彩りを添え、よい意味でこれまでとはまた違った雰囲気生まれました。どの作品も作った人たちの個性が「そのまま」表現されていてひとりひとりの顔が思い浮かぶようです。実は、この「個性」や「自分」を作品で表現する、ということはなかなか難しいことで、芸術家たちは日々悩んでいるのですが、どうもスコール生は知らないうちにサラリと表現してしまっている。実はすごいことなのにあまり気づいていない。…その素朴さがあるから、かえって人の心に届くのかも知れません。

初めてスコールに足を踏み入れたとき、私は、すごくドキドキしました。「どうもフツの学校とは違うようだぞ」と思ってキョロキョロしていたら、生徒たちひとりひとりの存在がなんだかとてもダイレクトに伝わって来る感じがしたからです。今、そんな生徒たちに囲まれていると、こちらも格好つける訳にいかなくなって、嫌でも「素」になっていき

ます。泣いたり、笑ったり、怒ったり…、ハタマタ感動したり。そんな日々は忙しくて目がまわりそうですが、動きのある日々は楽しく、どちらかという、私の方が「育てられている」感じもあります。

いろんな生徒たち、いろんな先生、いろんな授業。スコールを支えてくれるいろんな人たち。いろんな個性が集まって、時間や空間を共有する。ひとりひとりがのびのびと表現し、またそれら全部があってこそ生まれるこの美しい「はあもにい」がなんだかとてもいい感じなのです。また、そのいい感じがスコールの目指すところ…スコールそのもの？…良いところ？かな、と思っています。

「はあもにい」美術工芸作品展は、そんなスコールの良いところを、もっといろいろな方に知っていただきたい！という熱い思いから生まれました。芸術科を中心にはじめた展覧会ですが、今年は農場も巻きこみ、だんだんグレードアップしてきました。来年度はどんな展覧会にしようかな、どんなテーマにしようかなと考え出すと、今からワクワクしてきます。

みなさま、来年も、どうぞお楽しみに！

「みどり香るまちづくり」植樹祭

5月14日、町内の方をお招きし、盛岡スコール高校1年生&スコール幼稚園にわたり組が「みどり香るまちづくり」植樹祭を行いました。

新聞やテレビでも紹介されたこの植樹祭は、昨年、学校法人スコールが小岩井農牧協力のもと、環境省主催「みどり香るまちづくり」企画コンテストへ応募したことがはじまりでした。「風薫る通学・通園路」と題したその企画は、見事入賞！副賞として、香る植物（カリンやニッコウヒバなど樹木約110本、ラベンダーなどハーブ類約190本計約300本）をいただき、昨年完成した正門からアリーナまでのフェンスに沿って植栽することと

なったのです。

農場や学内の花壇など、昔から緑を大切にしているスコールですが、このような道路沿いに、それも香る植物を植えることで、開発が進むこの地区において少しでも潤いのある環境を提供できればと、また高校生や幼稚園生にとっても心豊かな環境をと思い、植栽場所を決めました。

植樹祭当日は、町内の皆さまご指導のもと、ひとつひとつ丁寧に植栽。その後も、幼稚園や農場実習を行う高校生が世話を続けています。時が経つにつれ豊かな緑となり、よい香りをもたらしてくれることでしょう。



平成22年度 盛岡スコール高等学校 募集要項

〈募集内容〉学科・定員 / 総合学科 男女200名 (科目選択の際 調理師免許取得は最大70名まで)

■ 第Ⅰ期募集

出願期間 平成22年1月12・13日
 選考日 平成22年1月17・18日
 選考方法 面接・課題作文
 合格発表 平成22年1月25日
 入学手続 平成22年2月1日まで
 出校手続日 平成22年2月14日

■ 第Ⅱ期募集

出願期間 平成22年1月14～25日
 選考日 平成22年1月29・30日
 選考方法 面接・課題作文
 合格発表 平成22年2月8日
 入学手続 平成22年3月19日まで
 出校手続日 平成22年3月19日

■ 学費

入学金 100,000円
 施設設備費 50,000円
 毎月授業料その他 35,000円

■ 寮費

入寮費 50,000円
 施設設備費 50,000円
 毎月寮費 (男子) 58,500円
 (女子) 58,000円

* 詳しくは 盛岡スコール高等学校事務局 (電話 019-636-0827)までお問い合わせください。